

令和5年

期間 11/9(木) ▶ 15(水)

秋の火災予防運動

全国の主な住宅
火災の原因



原因
その1

離れるときは必ず火を消す。
こんろ

こんろ周りに燃える物を置かない。

原因
その2

寝たばこ厳禁

たばこ

灰皿には水をいれる。吸殻を溜めない。

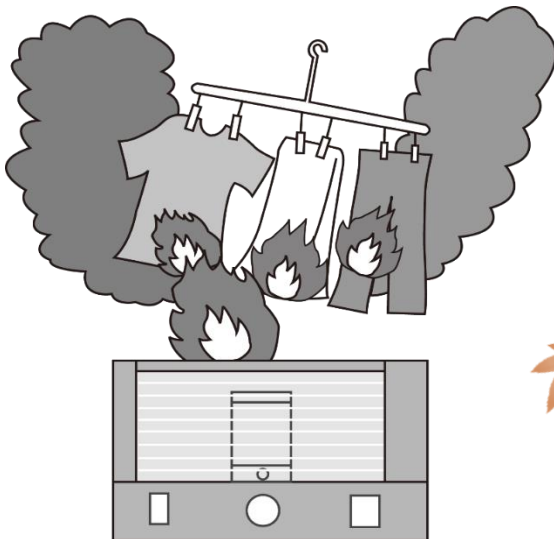


原因
その3

これからの季節増加

ストーブ

周りに燃える物を置かない。キャップはしっかりとしめる。



消防に関するお問い合わせ 消防本部消防課 TEL 0771-22-9581



火災が発生しやすい時期を迎えるにあたりもしもの火災に備えましょう！

住宅火災の被害を防ぐため、日頃から火災を起こさないように気をつけるとともに、起こってしまったときに、対応できる準備をしましょう。特に火災に有効な住宅用防災機器等は次の3点です。

消火器の使い方を動画で確認！

京都中部 消火器



住宅火災の初期消火に有効な消火器

初期消火には消火器が効果的です。火災の際、離れた場所から安全に消火することができます。台所や玄関に置いておくとすぐに使えます。焦った時でも、適切に使えるよう、使い方を確認しておきましょう。なお、天井まで火がいくと消火器では消せません。避難を優先しましょう。

古くなった消火器は一般廃棄物として廃棄できません。詳しくはインターネットで「消火器リサイクル窓口」を検索するか、(株)消火器リサイクル推進センターへお問い合わせください。

(株)消火器リサイクル推進センター

TEL03-5829-6773

消火器リサイクル窓口



消防庁登録番号

防災

登録確認機関名
公益財団法人 日本防災協会

⇒防災のタグが目印

火災の延焼拡大を防ぐ、防災物品

最近では、防災物品の商品がたくさん販売されています。カーテンや絨毯等は火災を拡大させやすく、たちまち大きな火にしてしまいます。

火災の拡大を防ぐため、部屋を整理整頓し、防災物品を使用することで、火災に強い環境を整えましょう。防災製品の寝具や衣類も火災予防に効果的です。

防災 非防災



カーテン燃焼実験

防災 非防災



ロールカーテン燃焼実験

早期発見！住宅用火災警報器

令和4年中に住宅火災で亡くなられた原因のうち、約40%が逃げ遅れでした。住宅用火災警報器は、火災の熱や煙を自動的に感知し、警報音を鳴らすことで、早期に火災の発生を知らせてくれます。既に設置されているご家庭は、定期的な点検、10年を目安に交換をまだ設置されていないご家庭は、台所、寝室、階段(2階以上に寝室がある場合)に必ず設置してください。

日本火災報知機工業会ホームページでは、点検方法や奏功事例等住宅用火災警報器に関する内容が掲載されています。是非、ご確認ください。日本火災報知機



注意!!

全国的に消火器や住宅用火災警報器の悪徳訪問販売が発生しています。
「業者による点検が必要です。」等といい、高額な金額を請求する業者がいます。
不審に思ったら、すぐに警察署又は消防署へお電話ください。

